

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第28回）議事概要

開催日及び場所	平成26年9月29日（月） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 （敬称略）	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授） ○委員 清水 幹裕委員（弁護士） 田辺 孝二委員（東京工業大学大学院教授） 和田 義博委員（公認会計士）	
審議対象期間	平成26年4月1日～平成26年6月30日	
個別審査案件	10件	○議事 （1）平成26年度第1四半期の物品・役務等契約に係る審査 （2）その他
一般競争入札方式	6件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	6件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	4件	
企画競争	2件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	2件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	個別に検討等を要するものはあるが、全体としては特に問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成26年度第1四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① 「博士人材の教育から社会への移行に関するパネル調査」の試験的实施と本調査に向けた検討【一般競争入札（総合評価落札方式）】（科学技術・学術政策研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会には6者参加しているが、入札時に不参加であった会社の理由はどのようなものか。 ・本契約の内容が博士課程全体のデータベースを構築するために、全体の中でどういった位置付けとなっているか整理しておく必要があるのではないか。 <p>② 平成26年度「文化芸術による『心の復興』事業」に係る連携協力体制の構築業務【随意契約（企画競争方式）】（文化庁）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回で4年目だが、これまでの4年間の応募状況はどうなっているか。 ・事業を数年続けて応募がない場合には、企画競争を繰り返すほかにも、公募を行い契約金額を精査する方法も考えられるが、今後どの方法によることが適切であるか検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後日聞き取りをしたところ、人手不足や仕様を満たせない等の理由で辞退したというものであった。 ・今後整理してまいりたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・公募はしているが、結果的に1者応募となっている。 ・どの方法が一番適切なやり方か今後検討してまいりたい。

③ 高齢者の体力づくり支援事業 【一般競争入札（総合評価落札方式）】（スポーツ・青少年局）

・一者応札となっている原因を分析されているか。

・事業を分割するなりして競争できる環境を作る必要があるが、それが難しいのであれば全額を精査する方法も考えられるので、今後の対応を御検討いただきたい。

また、スポーツ関係の全国団体はほかにも存在していると思われるが、それらの団体に参加を促すなどの働きかけはしているのか。

④ 健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業（健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する連携実践研究）【一般競争入札（総合評価落札方式）】（スポーツ・青少年局）

・評価者の中に、点数が低い人がいるが理由は確認されているか。

・説明会には2者参加しているが、入札に不参加であった会社にその理由を聞いているのか。

・当該事業の中に47都道府県で展開する事業があり、全国規模で行う経験や手法が必要となる点が原因ではないか。

・特に働きかけは行っていないので、今後の対応を含めて検討したい。

・技術提案書の内容が具体的に何をするかわかりづらかったと聞いている。

・当該会社はアンケート調査を主な業務としており、今回の事業に対応できるような事業体制になかったのではないかと考える。

<p>⑤ 地震調査研究推進本部の評価等支援事業【一般競争入札（総合評価落札方式）】（研究開発局）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から一般競争に移行した理由は何か。 一者応札となると今後も一般競争にするのがあるのか、公募にして履行内容や金額の精査をするのがあるのか検討していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度まで企画競争方式で行っていたが、より競争性と透明性を確保するために、一般競争入札に移行した。 御意見は御参考にさせていただきたいと考えるが、履行内容、金額については現地に赴いて、2～3日かけて額の確定調査を行い、無駄がないかどうかを確認している。
<p>⑥ 実社会ビッグデータ利活用のためのデータ統合・解析技術の研究開発（ビッグデータ利活用のための研究開発）【随意契約（企画競争方式）】（研究振興局）</p> <ul style="list-style-type: none"> 書類審査をした審査委員の審査のやり方が妥当かどうか確認できるよう、審査した人が全体をどう評価したかがわかる表を作成した方がよりよいと考える。 貴局における複数年の企画で競争させて評価する場合の予算規模の提示の方法を検証して報告していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 御指摘のとおり、今後検討していきたい。 確認させていただきたい。
<p>⑦ 英語教育改善のための英語力調査事業【一般競争入札（総合評価落札方式）】（初等中等教育局）</p> <ul style="list-style-type: none"> 落札率がかなり低い、相手方が業務を履行できることについて、どのように確認したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 落札した会社へ赴いて実地調査を行い、実施体制を確認するなど履行ができるかどうかを確認した。

⑧ 平成26年度化学物質過敏症の児童生徒に影響の少ない教科書対応【随意契約（競争性のない随意契約）】（初等中等教育局）

- ・競争性のない随意契約とした理由は何か。

⑨ 情報教育の推進等に関する調査研究【一般競争入札（総合評価落札方式）】（生涯学習政策局）

- ・継続性のある事業であるのならば、複数年契約を結ぶこと視野に入れてよいのではないか。
- ・競争性の向上のため、工夫したことはあるか。

⑩ 在外教育施設派遣教員システム及び在外教育施設派遣教員旅費執行事務管理システム保守一式【随意契約（競争性のない随意契約）】（大臣官房会計課）

- ・システムの本体価格と比べると、システム規模の割に保守費用が少し高いのではないか。

【総括】

- ・個別に検討等を要するものはあるが、全体としては問題なく処理されている。

- ・著作権の関係を処理する上で、業務が可能な唯一の事業者であると考えられたため。

- ・御指摘のとおり、今後検討していきたい。

- ・前年度は入札が不調であったため、できるだけ門戸を広げられるような形で入札を行ったところ。

- ・派遣教員等のデータの登録作業や更新作業を含めた保守費用となっているので、適切な金額であるとする。